



## まちづくりを目指して

豊浦町議会議長 工藤 敏和

町民の皆様、明けましておめでとうございます。  
新しい年の始まりをお健やかに迎えになられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃より、町政の発展と議会運営に対し特段のご理解とご協力を賜り、議員一同心よりお礼と感謝を申し上げます。

さて、本年4月より、第6次豊浦町総合計画がスタート。

国は「地方創生」を積極的に推進し、人口減少問題の中でどのように生き抜くかを投げかけていますが、まちづくりの基本は、町民の安心・安全と幸せづくりであります。

しかしながら、農協のAコープ店閉鎖に伴う買い物弱者対策をはじめ、移住定住、雇用対策、産業振興、地域公共交通、再生可能エネルギー等の課題が山積しています。

これらの諸問題の解決に向けて、議員一同が一丸となり常に町民の皆様の付託とご期待に沿うべく、皆様の声を町政に反映できるよう努力してまいり所存でございます。

経済情勢を見ますと、国内民需は底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調が続くと目されております。

ですが、地方における行財政の運営は、税収の減少や地方交付税等の削減など、非常に厳しい状況にあります。

このような厳しい状況であればこそ、悲観的に捉えることなく、それぞれの立場で知恵を出し、創意工夫を凝らしながら、積極的に取り組まなければなりません。

このため、議会では、各議員の<sup>かつたつ</sup>闊達な議論のもと、議会活動の充実・強化や開かれた議会運営を行いながら、町民代表としての行財政運営のチェック機能を十分に発揮し、本町の課題克服により、暮らしやすいまちづくりを目指し職責を全ういたします。

今年の干支は「戊戌(つちのえ・いぬ)」であります。「戊戌」は大きく成長できることが期待できる、「成長を促してくれる年」とされています。当町議会といたしましても、干支にあやかり、これまで以上に町民の皆様のためにも成長してまいりますので、本年もご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆様の、なお一層のご活躍と、ご健康をご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

## 豊かに生きる環境づくりを目指して

豊浦町教育委員会教育長

佐々木 浩 治



新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご清祥にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、本年も明るく希望に満ちた一年となりますことをご祈念申し上げます。また、本町の学校教育の充実や生涯学習の推進にあたりまして、何かとご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年の教育委員会においては新たな事業に取り組んだ一年でありましたので、事業を振り返ってみたいと思います。はじめは、豊浦中学校の修学旅行に町からの補助を行い、見学地を「広島・大阪」方面としたこととあります。これは、平成27年に町と町議会が「非核・平和の町宣言」を決議したことを受けまして、あらためて子どもたちに平和の尊さや命の大切さを考えてもらうことを目的として実施いたしました。修学旅行報告会では、平和記念資料館等を訪れた際に感じた戦争の悲惨さや平和の尊さを強く訴えらるとともに、帰町後「まとめの学習」で取り組んだ群読と合唱を聞かさせていただきました。

次に、子どもたちの放課後等の活動を充実させるために、「放課後子供教室」を実施しました。これは、今日の子どもたちにとって必要な様々な体験活動を提供する場として取り組んでいるものであり、町内の小学生40名以上が登録し、週に2回低学年と中・高学年部に分かれ公民館やスポーツセンターなどを使用して実施しています。また、4月からは町内の小学校3校と中学校に学校運営協議会を設置し、各学校を「コミュニティ・スクール」に指定しました。このコミュニティ・スクールは、全国的にもここ1～2年で急激に普及している取り組みで、学校が目指す子ども像を地域の方と共有し、一緒になって子どもたちが健やかに成長できる環境をつくっていきこうという新たな「学校の応援団」づくりです。このためには、学校の教育活動に対して地域の方のご理解とご支援が必要となりますので、ご協力をお願いします。結びとなりますが、本年も生涯学習の推進に努め豊かに生きる環境づくりに取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。